

【様式4】 エシカル甲子園2021 プロフィールシート

学校名 金光学園高等学校（〒719-0104 岡山県浅口市金光町占見新田1350）
発表タイトル 歩成り金デニムコースターによるエシカル消費の喚起
学校概要 金光学園は、明治27年創設以来、127年の伝統を誇り、地元から厚く支持を受けている。「心の教育を土台にした人間教育」という教育方針は現在にも受け継がれ、生徒一人ひとりが、「人をたいせつに自分をたいせつに物をたいせつに」という合言葉を実践して、本物の生きがいと個性の輝きを得られるよう努めている。

探究活動

エシカル甲子園応募に当たり、アパレル業界の構造や世界の発展途上国での労働搾取問題、環境負荷問題などの視点を持ちつつ、自分の住む地域でまず実行するという地に足の着いた姿勢で取り組んだ。昨年度に先輩が先鞭をつけたデニムコースターの作成を、コロナ禍で不特定多数からの中古デニムの回収作業が難しくなったため、端切れ生地を利用するという方針を打ち出して製品化に漕ぎつけた。リアビズ（高校生模擬起業グランプリ）で全国10チームに選抜され、製品化の資金を得られたのを機に老舗デニムファクトリーの青木被服㈱や地元商工会、倉敷市役所、郵便局などの多くの方々のご支援をいただきながら、生徒はエシカル消費について学び、実行し、発信するという貴重な経験を積んだ。収益は、本校の他の探究チームが取り組んでいる「ミャンマーに小学校を建てるクラウドファンディング」に寄付する。廃棄物になる予定の端切れ生地がデニムコースターに生まれ変わり、さらには発展途上国の人材育成にまでつながるというアップサイクルを生み出した。倉敷が将棋の聖地であるため、藤井聡太新竜王祝賀会が開催されたときには「歩成り金デニムコースターの贈呈式」で生徒から新竜王に手渡すことができメディアでも大きく報じられたことは生徒には生涯の思い出になる経験であった。地域の方々のおかげで活動に広がりを得ている。

今回の活動は2年生女子生徒8人が行っているが、応募メンバーとしては次の3人である。（模擬会社「じーんず」の役職を記載）
三宅彩乃（代表取締役社長） 玉川小桜（広報マーケティング部長） 坂野友美（広報マーケティング部）

